

# No.3

## 小学部「特別の教科道徳」「自立活動」

単元名:「なかよし2・3ねん1くみになろう」

Kさんの本時の個別の指導目標

(特別の教科道徳【礼儀】)

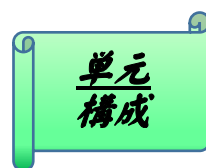
- 具体的な生活場面において、自分も相手も気持ちよく過ごすことができるような人との関わり方について考えることができる。

(自立活動)

- 「なかよくゴー!」を通して、前に友達がいる時や友達が遅い時に、言葉や行動によって、相手が気持ちよく、一緒に活動できる言葉があることを理解し、実際に使って、友達とゲームを楽しむことができる。

### 資質・能力を育むための指導のアイデア

### 【指導と評価の一体化】



- ・「謝る」以外にも事前の対応策としてどんなものがあるのか引き出せるような話題の転換。
- ・子どもの考えを見える化する板書の工夫。
- ・ロールプレイを実際に見て、表情や様子に注目させながら気持ちを考える。
- ・「ふわふわことば」をカードにして提示し、本人が選んで使えるようにする。
- ・模範の動画を見て考える時間があってもよい。
- ・表現する言葉の獲得を図るために、国語科との関連を充実させていく。
- ・学習の様子から、道徳科の学習の必要性を感じた。単元以外でも道徳科の学習の時間を設定すると良い。



< 単元研究会のあと・・・ >

単元研究会後、先生方からいただいたご意見を参考に、道徳科の内容に関しては「板書」の見直しを図りました。「お互いに気持ちよい」という視点に気付くことができるように、両者の気持ちについて書き出した児童の意見とともに「いい気持ち」「嫌な気持ち」のカードを提示し、「どうしたら二人とも『いい気持ち』になるのかな。」と発問すると、児童が様々な解決策の意見を出す姿が見られました。

